

西脇知事に
要望書を提出

7月5日、西脇知事宛要望書を知事に提出し物価高騰対策及びあたかいい京都づくりの着実な実施に向けた対策を要望しました。

写真左から、藤山裕紀子政調会長、近藤永太郎団長、西脇隆俊知事、荒巻隆三代表幹事、中村正孝代表幹事

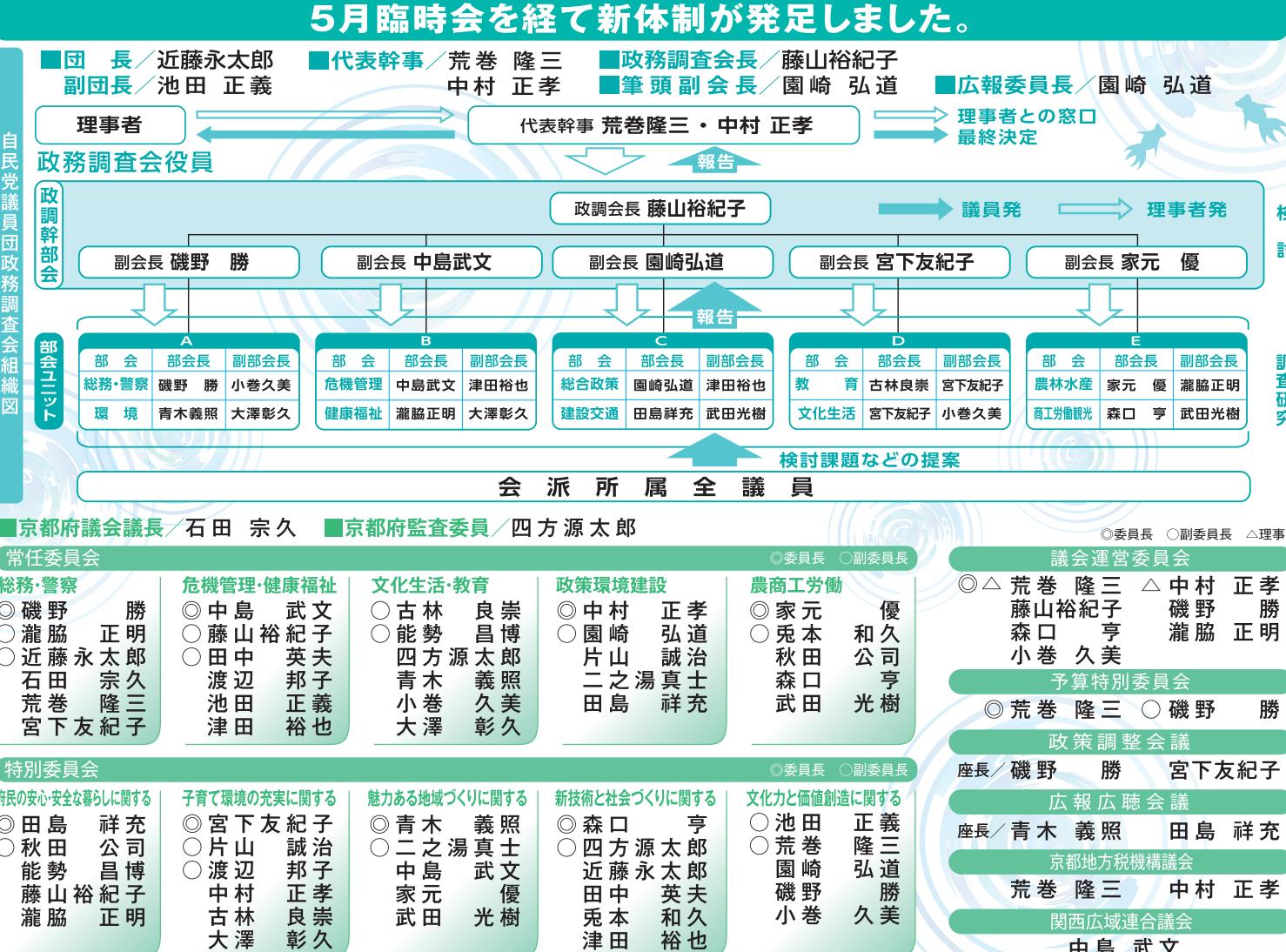
令和5年度6月補正予算の概要 総額 95億5,100万円

1 事業活動や府民生活を守る施策の推進

- ◆厳しい経営環境にある中小企業等の事業継続や事業再構築を後押し………2億4,000万円
- ◆LPガスや特別高圧電力を利用する中小企業や消費者等への支援 ……18億5,000万円
- ◆利用者への価格転嫁が困難な医療機関・社会福祉施設等の経営改善を支援 ……7億円
- 2 あたかいい京都づくりに向けた施策の推進
- ◆府内全ての小・中・高校生の豊かな学びの環境を創造 ……6,000万円
- ◆子ども食堂やこどもの居場所等のイベント開催や食事提供の経費を支援 ……1,400万円
- ◆ふるさと納税制度を活用し、「あたかいい京都づくり」を推進 ……3億6,900万円
- ◆人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを加速化(公共事業) ……39億3,100万円

自民党が提出し、可決された意見書 この意見書は、衆参両院議長・総理大臣・所管大臣に提出します。

■森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書



6月定例会での質問項目の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>)で録画中継をご覧ることができます。

①北部地域の看護師確保対策と府立看護学校整備 ②精神障害者への医療費助成制度を③府内のスポーツ施設整備について



文化庁京都移転や新たな観光戦略を地域創生につなげ、こども家庭庁の創設を機に更にこどもまん中社会の実現を



物価高騰で痛んでいる小規模事業者や農林水産業者、そして府民をどう守っていくのか、西脇知事に問う！



舞鶴医療センター附属看護学校の閉校決定を受け、府立看護学校の果たす役割が大きく、建設から40年が経過し、建物・設備の老朽化が進み、地元からの立替の要望に対しどのように対応するのか。

精神障害者への医療費助成は多くの都道府県で風邪やけが等の一般的な医療に対し助成しているが、本府では実現していない。本制度は本府と市町村が共同で課題整理を進めているが現在の検討状況は。

府内のスポーツ施設整備特に、屋内スポーツ施設は府立大学の体育馆を整備検討されているが、様々な視点で議論・検討、一方、向日町競輪場の外部有識者会議から競輪場敷地内のアリーナ整備を求める声、さらには市長の「競輪場の余剰地での屋内スポーツ施設の整備を京都府に働きかける」との意向表明に対する受け止めは。

①子供食堂など子供貧困対策の解決を ②防災士の養成を促し防災力の向上を ③京都らしい生物多様性地域戦略を



閣府内農産物の持続可能な価格形成を 答農業の公益的な機能は極めて大きく適正な価格形成と利益の確保を目指す



文化庁移転を契機として京都府が誇る文化をさらに発展させ、国内外に発信し文化振興の弾みに！



舞鶴医療センター附属看護学校の閉校決定を受け、府立看護学校の果たす役割が大きく、建設から40年が経過し、建物・設備の老朽化が進み、地元からの立替の要望に対しどのように対応するのか。

精神障害者への医療費助成は多くの都道府県で風邪やけが等の一般的な医療に対し助成しているが、本府では実現していない。本制度は本府と市町村が共同で課題整理を進めているが現在の検討状況は。

府内のスポーツ施設整備特に、屋内スポーツ施設は府立大学の体育馆を整備検討されているが、様々な視点で議論・検討、一方、向日町競輪場の外部有識者会議から競輪場敷地内のアリーナ整備を求める声、さらには市長の「競輪場の余剰地での屋内スポーツ施設の整備を京都府に働きかける」との意向表明に対する受け止めは。

①子供食堂など子供貧困対策の解決を ②防災士の養成を促し防災力の向上を ③京都らしい生物多様性地域戦略を



閣府内農産物の持続可能な価格形成を 答農業の公益的な機能は極めて大きく適正な価格形成と利益の確保を目指す



文化庁移転を契機として京都府が誇る文化をさらに発展させ、国内外に発信し文化振興の弾みに！

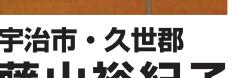


舞鶴医療センター附属看護学校の閉校決定を受け、府立看護学校の果たす役割が大きく、建設から40年が経過し、建物・設備の老朽化が進み、地元からの立替の要望に対しどのように対応するのか。

精神障害者への医療費助成は多くの都道府県で風邪やけが等の一般的な医療に対し助成しているが、本府では実現していない。本制度は本府と市町村が共同で課題整理を進めているが現在の検討状況は。

府内のスポーツ施設整備特に、屋内スポーツ施設は府立大学の体育馆を整備検討されているが、様々な視点で議論・検討、一方、向日町競輪場の外部有識者会議から競輪場敷地内のアリーナ整備を求める声、さらには市長の「競輪場の余剰地での屋内スポーツ施設の整備を京都府に働きかける」との意向表明に対する受け止めは。

①子供食堂など子供貧困対策の解決を ②防災士の養成を促し防災力の向上を ③京都らしい生物多様性地域戦略を



①宮津エネルギー研究所跡地について ②丹後織物産地の活性化について ③府北部の人手不足対策について



①京都府の国際化について ②府立嵐山公園と桂川の整備について ③教育庁による教育現場のガバナンスについて



舞鶴医療センター附属看護学校の閉校決定を受け、府立看護学校の果たす役割が大きく、建設から40年が経過し、建物・設備の老朽化が進み、地元からの立替の要望に対しどのように対応するのか。

精神障害者への医療費助成は多くの都道府県で風邪やけが等の一般的な医療に対し助成しているが、本府では実現していない。本制度は本府と市町村が共同で課題整理を進めているが現在の検討状況は。

府内のスポーツ施設整備特に、屋内スポーツ施設は府立大学の体育馆を整備検討されているが、様々な視点で議論・検討、一方、向日町競輪場の外部有識者会議から競輪場敷地内のアリーナ整備を求める声、さらには市長の「競輪場の余剰地での屋内スポーツ施設の整備を京都府に働きかける」との意向表明に対する受け止めは。

①子供食堂など子供貧困対策の解決を ②防災士の養成を促し防災力の向上を ③京都らしい生物多様性地域戦略を



①宮津エネルギー研究所跡地について ②丹後織物産地の活性化について ③府北部の人手不足対策について



①京都府の国際化について ②府立嵐山公園と桂川の整備について ③教育庁による教育現場のガバナンスについて



舞鶴医療センター附属看護学校の閉校決定を受け、府立看護学校の果たす役割が大きく、建設から40年が経過し、建物・設備の老朽化が進み、地元からの立替の要望に対しどのように対応するのか。

精神障害者への医療費助成は多くの都道府県で風邪やけが等の一般的な医療に対し助成しているが、本府では実現していない。本制度は本府と市町村が共同で課題整理を進めているが現在の検討状況は。

府内のスポーツ施設整備特に、屋内スポーツ施設は府立大学の体育馆を整備検討されているが、様々な視点で議論・検討、一方、向日町競輪場の外部有識者会議から競輪場敷地内のアリーナ整備を求める声、さらには市長の「競輪場の余剰地での屋内スポーツ施設の整備を京都府に働きかける」との意向表明に対する受け止めは。

①子供食堂など子供貧困対策の解決を ②防災士の養成を促し防災力の向上を ③京都らしい生物多様性地域戦略を



①宮津エネルギー研究所跡地について ②丹後織物産地の活性化について ③府北部の人手不足対策について



①京都府の国際化について ②府立嵐山公園と桂川の整備について ③教育庁による教育現場のガバナンスについて



舞鶴医療センター附属看護学校の閉校決定を受け、府立看護学校の果たす役割が大きく、建設から40年が経過し、建物・設備の老朽化が進み、地元からの立替の要望に対しどのように対応するのか。

精神障害者への医療費助成は多くの都道府県で風邪やけが等の一般的な医療に対し助成しているが、本府では実現していない。本制度は本府と市町村が共同で課題整理を進めているが現在の検討状況は。

府内のスポーツ施設整備特に、屋内スポーツ施設は府立大学の体育馆を整備検討されているが、様々な視点で議論・検討、一方、向日町競輪場の外部有識者会議から競輪場敷地内のアリーナ整備を求める声、さらには市長の「競輪場の余剰地での屋内スポーツ施設の整備を京都府に働きかける」との意向表明に対する受け止めは。

舞鶴医療センター附属看護学校の閉校決定を受け、府立看護学校の果たす役割が大きく、建設から40年が経過し、建物・設備の老朽化が進み、地元からの立替の要望に対しどのように対応するのか。

精神障害者への医療費助成は多くの都道府県で風邪やけが等の一般的な医療に対し助成しているが、本府では実現していない。本制度は本府と市町村が共同で